

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 芦屋はまゆう

作成日: 令和3年2月3日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して、内容もホームからの報告が中心になっている。新しい参加委員を増員して、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて参加したくなる運営推進会議を目指していく。	複数の民生委員や、地域で活動している有識者、知見者等に参加を要請したり、ゲストに講師を招いてミニ勉強会を行う等、より多くの情報を得た内容を地域に還元できるような広がりのある会議運営を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回避難訓練を行い昼夜想定で実施しているが、職員全員が、非常時に冷静に行動出来るかが不安である。訓練を頻繁に行える体制を整え、職員個々の意識と技術を高めていく。	利用者を巻き込まずに、職員が夜勤者と利用者役に分かれ、目標タイムや避難場所を設定して夜間想定訓練を行い、夜勤者が自信をつけるまで何度も訓練を行い、利用者が安全に避難場所待機できる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。